

ワークショップのルール



1. ワークショップとは

参加者全員が主体となって自ら進んで発言したり積極的に行動して、共に何かを学びあったり、創り出したりする検討の一つのスタイルであり、会議の一種です。

2. ワークショップの進め方

分かれた2班のグループでファシリテーター(進行役)を中心にワークショップを行います。(討議時間:35分)

- (1)グループ内の全員が発言できるようにします。発言が長時間にならないよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにして、限られた時間を大切にしてください。
- (2)ふせん紙に記載されたことが記録に残ります。発言したいことは必ず、ふせん紙に記入してください。
- (3)1枚のふせん紙に1つの意見を記入してください。
 - ・配布された資料を見て、感じたこと、気になったこと、共有したいこと等をふせん紙に記入してください。
 - ・一人ずつ、模造紙にふせん紙を貼ります。貼るときに、簡単に説明しながら、貼ります。他の人は、その意見と同じようなふせん紙があれば、続けて貼ってください。
 - ・時計回りに繰り返します。
- (4)ふせん紙が模造紙に貼られ、ある程度意見が出揃えば、マーカーで整理をお願いします。
 - ・似たような意見(ふせん紙)をグループに分けます。

3. ワークショップの心得



- ・話は短めに(話しすぎに注意)
- ・違って当たり前(否定しない)
- ・話をつなげよう(話を楽しみましょう)
- ・みんなで学ぼう(ともに教える)

4. その他留意事項

- (1)討議の終了時間が近づけば、事務局が合図をしますので、各グループは、まとめに入ってください。(10分)
- (2)グループのまとめは5分程度で発表してください。

